



フィルムコミッション（ＦＣ）

映画、テレビ、CMなどのロケーション撮影を誘致・支援する組織「フィルムコミッション（FC）」を設立する動きが全国に広がっています。FCは米国で誕生し、現在では世界25カ国に約280の団体があります（注1）。わが国では自治体や商工会議所、観光協会など地域振興を目的とした団体の協力下に発足するケースが多く、その数は今年度中に設立予定のものを含めると約20に上るとみられます（注2）。

具体的な活動内容としては、ロケ候補地の紹介、警察、消防、行政への撮影許可申請のサポート、地元エキストラ組織の運営、など直接撮影に関する事項に加え、撮影スタッフの宿泊先や弁当の手配など滞在面での支援、まで広範囲にわたっています。

制作者サイドからすれば、こうした支援・協力を得ることで、これまで煩わしかった撮影許可などの手続きやロケ地滞在における各種手配に関する手間が省けるため、撮影を円滑に進めることができ、本来の目的である映像制作活動に集中することができます。

一方、地元にとっては、撮影関係者の長期滞在による消費需要（宿泊、食事、サービス）に加え、地域の映像がスクリーンやテレビを通じて全国に配信されることによる地域PR、地域イメージの向上に伴う集客力（観光客、定住者）の強化、などの効果が期待できます。

全国でFC設立の動きが加速する中で、本年8月には全国フィルムコミッション連絡協議会が設立され、今後の活動としては、FCと制作者の間で発生する課題を解決するためのガイドライン作成、資料・情報提供によるFC設立支援、研修等を通じた人材育成、などが計画されています。また、国土交通省や映画議員連盟（超党派の国会議員で構成）においても、FCの活動を地域振興の面から支援する方向性が打ち出されています。

もっとも、各地にFCが増えるに連れて今後は地域間の競争も予想されるなど、各FCがその存在意義を確立していくためには、官民一体となった組織体制の強化、積極的な誘致活動、住民や企業など地域を挙げての協力、が重要なポイントになるとみられます。

別府 孝文

（注1）2001年8月時点で国際フィルムコミッショナーズ協会（AFCI）に加盟の団体。

（注2）中部地区では既に、金沢市、上田市、犬山市を中心とした5市町、名古屋市、でFCが設立されており、三重県においても伊勢志摩地域での設立が予定されている。

フィルムコミッションによるロケーション撮影の変化

